

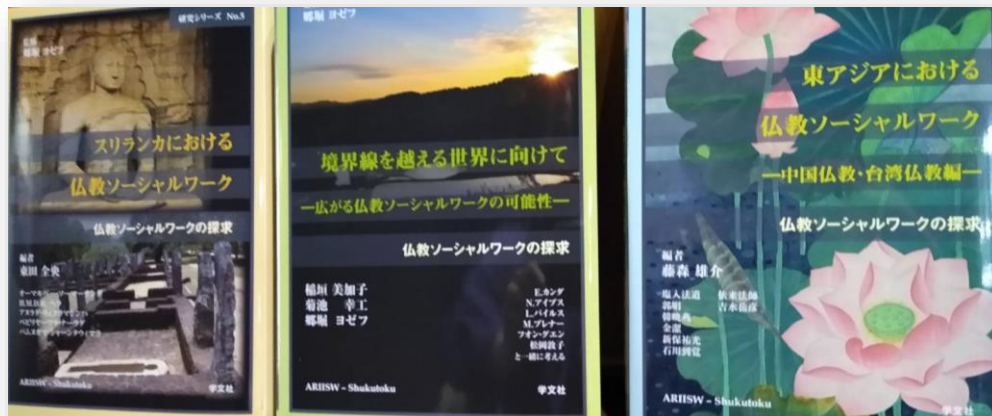
アジア国際社会福祉研究所 kara

No. 33 2021.4.7

編集・発行責任者 山口 光治

仏教ソーシャルワーク研究叢書 新たに3冊出版

そして、ARIISW は新体制で歩み始めます



2016年4月に開設したアジア国際社会福祉研究所(ARIISW)の最大の貢献者である秋元樹所長が3月31日で退任、4月1日より山口光治新所長が就任しました。新所長のもと秋元所長の掲げた理念を継承し、ARIISWはさらに歩み続けます。

私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の一環としてスタートした当研究叢書は、継続してアジア各地域の仏教ソーシャルワークの現状をクローズアップしています。忙しい年度末ではありましたが、2021年3月末に新たに三冊の本を出版することができ、新年度に入ってすぐに配本を始めました。ぜひともご一読いただければ幸いです。

東田全央(編)『スリランカにおける仏教ソーシャルワーク』 1冊目は、昨年、英語版として発行したスリランカの仏教ソーシャルワークの歴史的展開から現状まで映し出したものを基にした日本語版です。上座部仏教の背景をもつスリランカ現地の目線

をお届けする一冊です。編集は青森県立大学の東田先生を中心に、上座部仏教やパーリ語、シンハラ語などに詳しい吉澤先生やシリパーラ・ウイラコーン先生にもご協力いただきました。

稲垣美加子、他(編)『境界線を越える世界に向けて』 同じく、昨年発行した北米のソーシャルワーク研究者へのインタビューをベースにした図書の和文です。カナダ・トロント在住の菊池先生の協力を得て、仏教ソーシャルワークをカナダとアメリカ合衆国の先生方と一緒に北米の視点から眺めることにより、様々な境界線を越えるソーシャルワークへの提言が見えてきました。

藤森雄介(編)『東アジアにおける仏教ソーシャルワーク』 これまでは英文報告を先行にしながら研究成果をまとめてまいりましたが、本書は逆です。中国と台湾の両地域では新保先生(大正大学)と吉水先生を中心に調査研究が行われ、日本語でまとめられています。同じ大乘仏教を背景とする東アジア地域ではありますが、様々な事業・活動の紹介を通して数々の特徴が浮き彫りになりました。

新体制でのARIISWの研究事業活動は続いています。2021年度もどうぞよろしくお願いいたします。

◆アジア国際社会福祉研究所のニュースがSナビにて月1回程度配布されております。